

イラストコーナー

題名:夏の海 作者:山内慎介

夏の海の景色を絵で表現しました。涼しさを感じてもらえるようにとの思いを込めてあっさりとした作品に仕上げました。



私のつぶやき

夏です。夕暮れ時の、赤く染まった空に浮かぶモクモクとした入道雲はまるで瀬戸内海に浮かぶ島々の様で、ほっこりした気持ちになります。皆様この夏はどんな楽しみを味わっていますか？

味わいと言えば味覚。夏野菜、スイカ、桃、かき氷… あーキリがない。おっ！忘れていました大人のドリンク。そう、ビール。暑かった一日のご褒美に「ぷはーっ うまい♪」の顔が浮かぶ。私はソーダですけどね。飲むチャンスを逃したビールが数本ありまして、ビール酵母でパンを焼きました。粗熱が取れるのを待ち試食タイム。ほお〜♡ほんのり甘くほのかなビールの匂い。翌日はトーストで外はバリッと香ばしく、二度おいしいパンでした。



そして夏には梅も大活躍。何だか無性にバターケーキが食べたくなり、頂いた梅で作ったジャムと梅酒でケーキに。梅酒をたっぷり染み込ませ、蒸し暑い夏でもサッパリと食べられる梅酒ケーキが出来上がりました。



それでは引き続き皆様も体調に気を付けて、快適な夏をお過ごし下さいませ★

(オンリーワン 菅 桂子)

編集後記

夏号も多くの方々のご協力のおかげで発刊することができました。パソコン講座は皆さんそれぞれのペースで勉強されています。10月の後期の講座からは西条市東予総合福祉センターでの開催になりますのでご注意ください。この機会にパソコンの操作を覚えたいと思われる方はぜひご参加ください。

今回取材させていただいたピッコロでは、家庭での入浴が難しい方でもゆったりとシャワーを浴びたりお湯に浸かることができる浴槽がありました。きっと気持ちがいいだろうと思います。日本人はお風呂が大好きですからね。

さて、梅雨が明け、これから夏本番になって気温も高い日が多くなってきます。家の中に居てもエアコンや扇風機などを利用し、水分補給も忘れずに熱中症には気を付けてください。

(オンリーワン 黒河 亮)

発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内
TEL: 0898-64-2600 (代) FAX: 0898-64-3920 E-mail: soudan4-saijo@saijoshakyo.or.jp



次回 10月発行

オンリー

バリアフリー
ペーパー

夏号

令和3年7月27日発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、共同で作成したものです。

梅雨明けとともに連日厳しい暑さが続いています。今年の夏は例年よりも気温が高くなると予報がされており、熱中症に注意が必要です。「熱中症」とは、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。こまめに水分補給をすることや、涼しい服装をして、室温調整や日陰で過ごすなど暑さを避けることが予防になります。熱中症を予防して、厳しい夏の暑さを乗り切りましょう。

(支援センター 高木)

令和3年度 障がい者パソコン講座（前期）開催中です

5月から開催予定だった障がい者パソコン講座は、コロナウイルス感染防止対策で会場が使用できず6月からの開催となりました。講座には以前受講されたことのある方や初めての方がいらっしゃいます。一人一人に合わせて、丁寧にわかりやすくをモットーに進めています。



皆さん真剣な眼差しで取り組んでいらっしゃいます。

(・ω・)



コロナウイルス感染予防対策として皆さんにフェイスシールドとマスクを着用していただいています。「意外と息苦しくなくていい」「なんだか芸能人みたい」と好評です。

令和3年度 障がい者パソコン講座（後期）のご案内

受講生を募集中

パソコンの基本的な操作を学ぶ講座ですので、初心者の方や久しくパソコンを使っていない方でも大歓迎です。休憩時間は情報交換やおしゃべりをしリラックスして過ごしています。お気軽にご参加ください。

時間：13時30分～15時30分

内容：ワードやエクセルの基本操作、
名刺・年賀状づくりなど

費用：受講料無料(テキスト代等として1000円程度の実費を徴収する場合があります)

対象者：在宅障がい者 10名程度 ※パソコンを持参できる方に限ります

申し込み締め切り：令和3年9月30日 ※申し込み多数の場合は抽選となります。

場所：西条市東予総合福祉センター2階 創作活動室(西条市周布 606 番地 1)

申込先：西条市障害者相談支援センター TEL0898-64-2600 担当：平井

開催予定日	R3年			R4年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	8日	12日	10日	14日	18日	22日
	22日	26日	24日	28日	25日	

※コロナウイルス感染防止対策のため、講座の実施が延期もしくは中止になる場合があります。予めご了承ください。

社会福祉法人同心会

多機能型重症心身障がい児(者)施設



多機能型デイサービス ピッコロ



を訪問しました(*^▽^*)

今回は、令和3年4月1日に開所した、多機能型重症心身障がい児(者)施設ピッコロに、訪問取材させていただきました。西条市を中心とした児童発達支援(0~6歳)、放課後等デイサービス(6~18歳)、通所生活介護(18~65歳)の多機能型事業所です。入浴、食事、集団活動、個別活動、創作活動など日中の支援を行います。看護やリハビリの専門的なスタッフもおられるので、障がいや体調面のサポートを得ながら安心して過ごす事ができます。

現在、各サービス1日の定員は5名で、月曜日~金曜日の実施となっています。未就学児を対象とした児童発達支援(送迎なし)と成人を対象とした生活介護(送迎あり)は、9:30~15:30の利用です。就学児を対象とした放課後等デイは、学校がある日は17:30まで(新居浜特別支援学校川西分校まで送迎サービスあり)、長期休暇中は9:00~17:00(送迎なし)となります。時間帯や内容は異なる部分もありますが、皆さんと一緒に活動する、和やかな雰囲気の事業所です。

ピッコロの設立準備を行ってきた管理者の林田聡さんに、お話を伺いました。林田さんは言語聴覚士で、長年にわたり障がい児者の支援に携わってこられました。「一人ひとりの興味や関心のある事など、ちょっとしたしぐさや表情、発する声をのがさず、個性を伸ばしていきたい」と、優しく真剣な眼差しで話されました。林田さんにお話を伺いながら、施設内を案内していただきました。

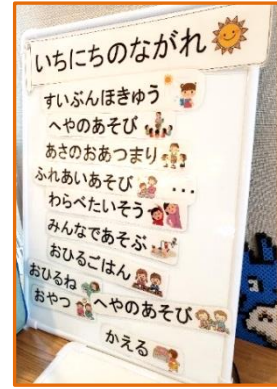
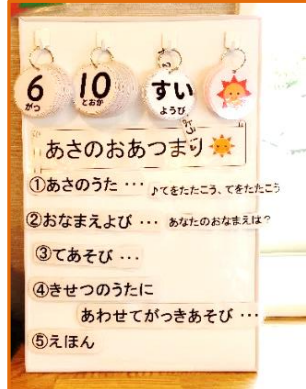


管理者の林田聡さん



↑玄関を入ると個性豊かなでんでん虫がお出迎え

↓その奥にはウッドデッキの中庭があり、心地良い風が入っていました(*^▽^*)



←一日のスケジュールが掲示してありました。



多目的室に設置されてある「フラッポリン」は、車いすから降りてゴロンゴロンと転がったり、弾む感覚を全身で感じられる遊具の一つだそうです。またベンツのエンブレムがついたカートがありました。これはクラクション部分を押し進むように改造されています。自分で動かしているということを感じてもらいたいそうです。安全のために離れていてもリモコンで停止させることができます。



生活介護と放課後デイサービスの間のパーテーションを取った広い部屋で主な活動は行っています。「大きなブランコ」や「サイバーホイール」も、とても魅力的で人気の遊具だそうです。一つ一つに興味津々の私でした。また、部屋の中には、スタッフの皆さんが手作りされた可愛いモビールなども飾られていて、あたたかな感じで、居心地が良かったです。



サイバーホイール



施設の中でも、入浴設備は、特に快適そうで、寝たままの姿勢でリラックスして浴槽のお湯に浸かれたり、ミストシャワーを浴びることが出来るようになっています。重度の障がいがあると、家庭で入浴が難しい事も多いと思います。安心安全に入浴を行うことができるので、とても素晴らしいことだと思います。



もしも利用中に体調の変化があった場合でも、慌てず対応できるように、日々ご家族とノートで連絡を取り合っていたり、掛かりつけの病院との情報を共有する等の配慮がされていました。

取材後記

スタッフの皆さんは、日頃の活動の中からご本人の出来る事を引き出し、笑顔になってもらえるようにと、いろいろな工夫をされている事が伝わってきました。ピッコロは0歳~65歳までの重症心身障がい児(者)の方が、切れ目なく通うことが出来る場所です。住み慣れた地域で安心して、暮らしていくために利用できる施設が出来て嬉しく思いました。利用する方々が交流を楽しみ様々な経験をすることで、日常が豊かなものになっていきますようにと願います。西条市が大好きな人たちのためにも頑張ってください。



(オンリーワン 鈴木 初恵)



問い合わせ先

多機能型重症心身障がい児(者)施設 ピッコロ
〒793-0027
愛媛県西条市朝日市 892 番地 25
電話 : (0897) 66-9030
FAX : (0897) 66-9031
E-mail : hayashida@ehime-piccolo.com
担当 : 林田 聡



FacebookのQRコードです。こちらからもご覧になれます。

投稿コーナー

題名 : お寿司
作者 : 真部信輔



以前、障がい者アート展で、ダンボールで作った建物の作品を見て、自分でも何か作れないかと考えて、お寿司を作ることにしました。本物のお寿司を思い出しながら、いろいろな種類を作るのに苦労しました。

